

# 金沢西部地区

(石川県金沢市)

- 計画期間 平成20年度～平成24年度
- 面積 792ha
- 交付対象事業費 4,029.0百万円
- 市人口 447,209人

## ポイント 交流機能の拡充と生活環境の整備

## 地区概要

地域コミュニティ形成の核となる活動拠点として図書館を整備することにより交流機能の拡充を図るとともに、広場・緑地の整備、区画整理事業等により快適な生活環境を創出する。

## 目標

地域交流拠点施設を整備し、交流機能を拡充するとともに、職住が近接した計画的で良好な住環境の整備を推進し、豊かですみよいまちづくりを目指す。

## 指標

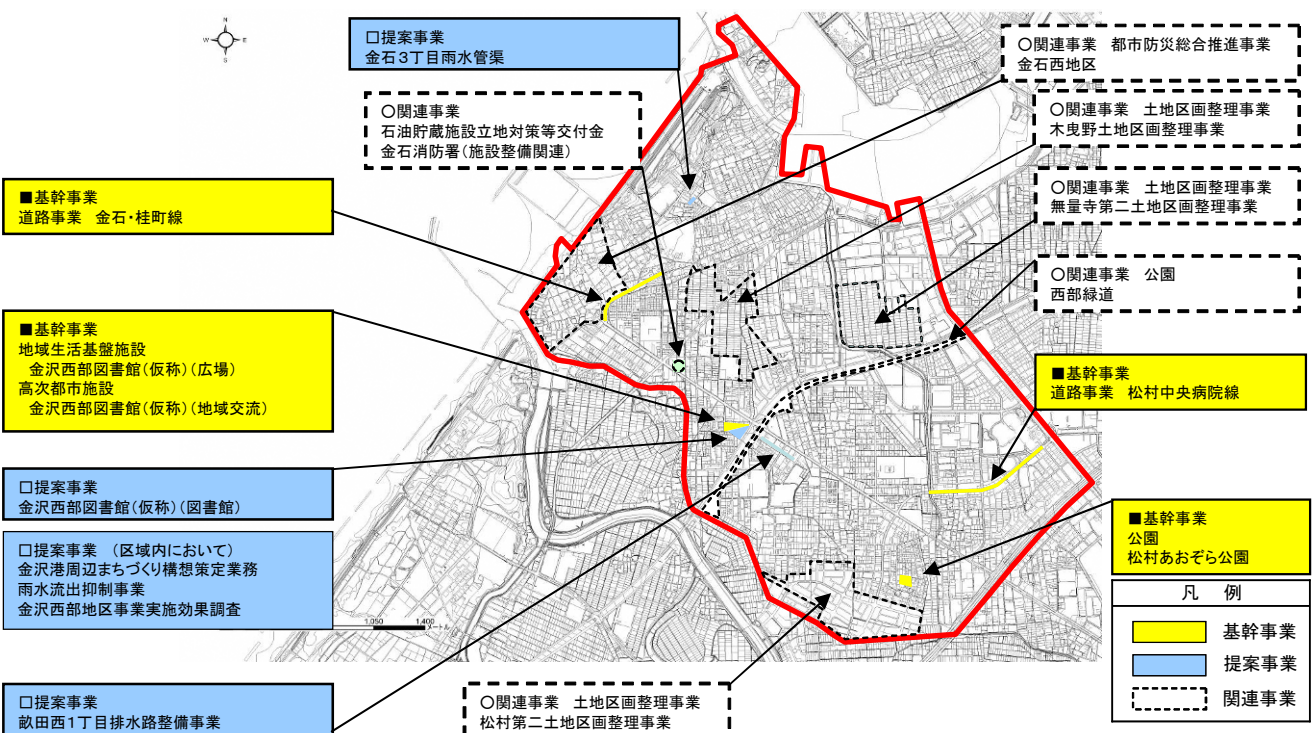
交流機能の拡充として公共施設利用者数の維持と図書館登録者割合の増加を目標とするとともに生活環境の整備として区域内人口の増加を目標とした。

指標	従前値 (H19)	目標値 (H24)	評価値 (H24)
区域内人口の増加	35,158 人	36,400 人	36,667 人
公共施設利用者数の維持	163,800 人/年	163,800 人/年	186,647 人/年
図書館登録割合の増加	17.9%	20%	39.4%

## 事業内容

基幹事業 (1,934.8 百万円) → 道路 (幅員 6m～9m、延長 1,981m)、公園 (1か所 10,055㎡)、広場 (1か所 6,320㎡)  
地域交流センター (1か所 2,034㎡)

提案事業 (2,094.2 百万円) → 西部図書館整備事業、排水路整備事業、雨水流出抑制事業、雨水管渠、  
金沢港周辺まちづくり構想策定、金沢西部地区事業実施効果調査



## 地区の現況と課題

地区内に石川県庁が移転し、金沢外環状道路海側幹線も一部供用を開始したこともあり、商業施設が数多く出店、又は出店を予定するなど近年の発展が著しい状況にある。また、数多くの土地区画整理事業が進行し、今後より一層の市街化が進むことが見込まれ、人口増加が著しい地区である。

このような、急激な人口増加に対し、地域コミュニティの形成の核となる地域交流拠点施設の整備が急務であるとともに、地元住民からも生涯学習や育児支援、交流機能を併せ持つ地域のまちづくりの拠点としての図書館整備が強く望まれている。また、市街化が急速に進む中、良好な生活環境の整備が求められている。



金沢外環状道路海側幹線

## 提案事業の特徴

### 交流機能の拡充

数多くの区画整理事業が進行し、急速な人口増加が進む中、地区におけるまちづくりの拠点施設として、金沢海みらい図書館を整備した。

### 生活環境の整備

急速に宅地化が進んでいる地区につき、雨水流出量の増大や近年の局所的な集中豪雨による浸水被害が頻発することに対し、雨水の貯留・浸透による流出抑制を図り、排水路を整備することにより、快適な生活環境を創出した。

### 歴史的な景観の保存活用

港町としての歴史文化が残る金石・大野地区の安全で快適な生活環境の形成を目指すとともに、歴史文化を活かした地域の活性化を図るまちづくり構想を策定した。



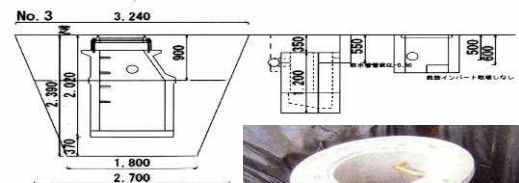
金沢海みらい図書館

## 計画策定プロセス

### 寺中町地内大規模公共用地利用検討会

### 金沢西部図書館（仮称）整備検討懇話会

金沢外環状道路（海側幹線）の整備に伴い買収した工場跡地を、地区の現況に適した活用に供するため、平成 18 年 8 月に「寺中町地内大規模公共用地利用検討会」を立ち上げ、平成 19 年 2 月に『将来的な公共施設需要にも対応できるよう、余裕のある土地利用及び施設整備計画を基本とし、整備する施設としては、地域のまちづくり拠点として住民の利便性を向上させる機能を持つものとして「西部地区の地域に根ざす図書館」の設置を提言する。』との意見受け、平成 19 年度には、「金沢西部図書館（仮称）整備検討懇話会」を立ち上げ、図書館施設の整備基本計画を策定した。



雨水浸透施設